



が起きたら  
必ずするとい  
かでできるよう防災訓練  
に落着いて迷わ  
に用意する  
ときの連絡方法を  
で相談し、はら  
の場所や方法を家  
にいつのとを守り、いじうとまではあります。  
は「災の日」でもあり、「震災記念日」でもあります。  
ふだんから地震に備える心がまえが大切。

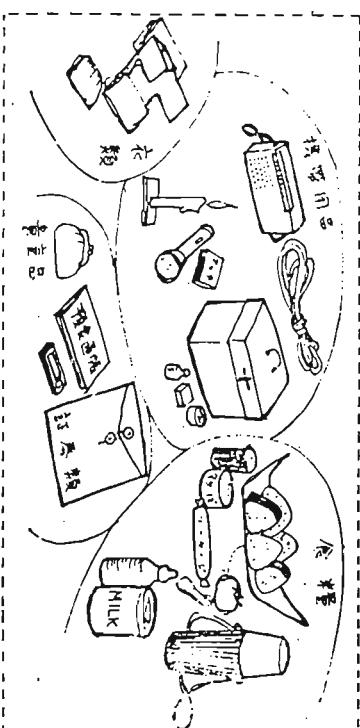
## 心の備え

- ⑤ 混乱に乗じ、余震や津波の来るよ  
うなデマがとぶことがあるので、  
襲そのはか人を不必要な道路に出すな  
で財道具などを道路に出すな  
延焼を拡大したり、防災活動  
に避難する。  
非常出でとりまつめ、早  
る。財道具に執着しないで、  
火災ばかりでなく、場所によ  
された電線などに注意する。  
には身を寄せ、屋外に落物や切  
きは、あわてに落物や切  
断下物に注意し、夫な家具  
に予測する。

## =マグニチュード=とは…

大きい地震のなかには、原了爆  
弾の千倍のエネルギーを出す地  
震がありますが、地震の総エネルギー  
は、すなわち地震の規模を表わ  
すのに用いるのがマグニチュード  
〔M〕—規模階級・地震の大きさ  
—です。マグニチュードは特定の  
地震で記録された最大振幅をは  
かり、それによって定められます  
大地震の勝負は始めの一 分とい  
ります、ですから、分子ぎたら  
〔M〕一規模階級・地震の大きさ  
危険が立ったときえられましょう。  
※我が国で起つた地震のうち最大  
震度はM.9、昭和39年6月の関東大震災  
新潟地震 M.7.7  
三陸沖地震 M.8.5

- ⑥ 東京ガスに知らせる。  
⑤ 断線した電線などを見し  
てから、勝手に修理はしないで  
います。ただし、勝手に修理はしないで  
しまる。  
④ 口ハボンへのハブルは、必ず  
遊びさせない。  
③ 火の始末と水源を見る。  
② たとえ時内は浸水であって  
ても、床下などの風をよく通すことに  
心を取らぐ。  
① 路上のゴミをかたむける。  
病人は平日に避難させることが大  
きが必要。また、老人、こども  
も、つて自分の避難先を決めておく  
場所にあらへていますので、前  
近くの学校や公共の建物が避難  
場所として危険防止のため  
帽をかぶるとい。  
外へ出るとときは危険防止のため  
とにかくしない。  
にあるマスクホールの蓋を絶対に  
くの東京電力に知らせる。  
火が出ていたのを発見したら近  
くの電線が切れたり、液線したり  
は、電気の安全點を開く。  
家の屋根水のむそれのあるところ  
には絶対にふれないと。  
に切れてたれさがつている電線  
りはしておへ。  
① 蛇口をくしめ、ホースは取  
りはずす。  
② 断水に備えて、飲料水のみ  
小出水の中には、雨水槽や污水槽  
(圖解にある排水設備)、道路  
川材、砂利  
は川材などは  
ト、化學薬  
は危険物は  
は、副食、飲  
マッチ、手ぬ  
ジスター  
マーリルふろ敷、  
通帳、印鑑な  
じを川応する  
はまとめておく。  
非常袋を用意し、身のまわり  
非常用袋を用意し、身のまわり  
★電気は  
いたずらに注意します。  
いつでも避難できるようにして  
ます。  
"台風が来たら"  
⑤ 非常用袋を用意し、身のまわり  
はまとめておく。  
④ 停電したら電気器具は、コ  
ンセントのえ。  
★電気は  
たずらに注意します。  
"台風が去つたら"  
⑤ 非常用袋を用意し、身のまわり  
はまとめておく。  
④ 服は行動やすいものに、  
動する。  
③ で族や隣近の人と組んで行  
ときは、勝手に修理はしないで  
います。  
② 口ハボンへのハブルは、必ず  
遊びさせない。  
① 火の始末と水源を見る。  
⑥ 東京ガスに知らせる。  
⑤ 断線した電線などを見し  
てから、勝手に修理はしないで  
しまる。  
④ 手洗いを励むし、いともに水  
浴びをさせない。  
③ 家の開閉をよく消音するこ  
とで。  
② たとえ時内は浸水であって  
ても、床下などの風をよく通すこ  
とに心を取らぐ。  
① 路上のゴミをかたむける。  
病人は平日に避難させることが大  
きが必要。また、老人、こども  
も、つて自分の避難先を決めておく  
場所にあらへていますので、前  
近くの学校や公共の建物が避難  
場所として危険防止のため  
帽をかぶるとい。  
外へ出るとときは危険防止のため  
とにかくしない。  
にあるマスクホールの蓋を絶対に  
くの東京電力に知らせる。  
火が出ていたのを発見したら近  
くの電線が切れたり、液線したり  
は、電気の安全點を開く。  
家の屋根水のむそれのあるところ  
には絶対にふれないと。  
に切れてたれさがつている電線  
りはしておへ。  
① 蛇口をくしめ、ホースは取  
りはずす。  
② 断水に備えて、飲料水のみ  
小出水の中には、雨水槽や污水槽  
(圖解にある排水設備)、道路  
川材、砂利  
は川材などは  
ト、化學薬  
は危険物は  
は、副食、飲  
マッチ、手ぬ  
ジスター  
マーリルふろ敷、  
通帳、印鑑な  
じを川応する  
はまとめておく。  
非常袋を用意し、身のまわり  
非常用袋を用意し、身のまわり  
はまとめておく。



## 天気図の見方

天気の動きを知るために天気図が必要です、ふだん、目にふれるものとしては、テレビの天気予報に出る簡単な天気図、やや詳しいものとして新聞に毎日でいる天気図などがありますが、記号や書き方をおぼえ天気図の理解を深めましょう。気象通報を毎日きまつた時にラジオで放送してますので、筆記具と紙を用意し実際に書いてみればよくわかります。放送の順序は全国天気概況、各地の天気、船舶の報告、漁業状況、と決っており、またそれぞれの言い方も一定してますので、それをおぼえれば書き易くなります。

特に、台風が近づいたときは、ニュースのたびに台风情報が放送されるので、天気図に記入すればおおよその大きさや、進路が判断できますので、よく注意しましょう。

測候所、観測地点の天気記号に上の羽根を風の方向(北風なら北へ向けて)へつける。

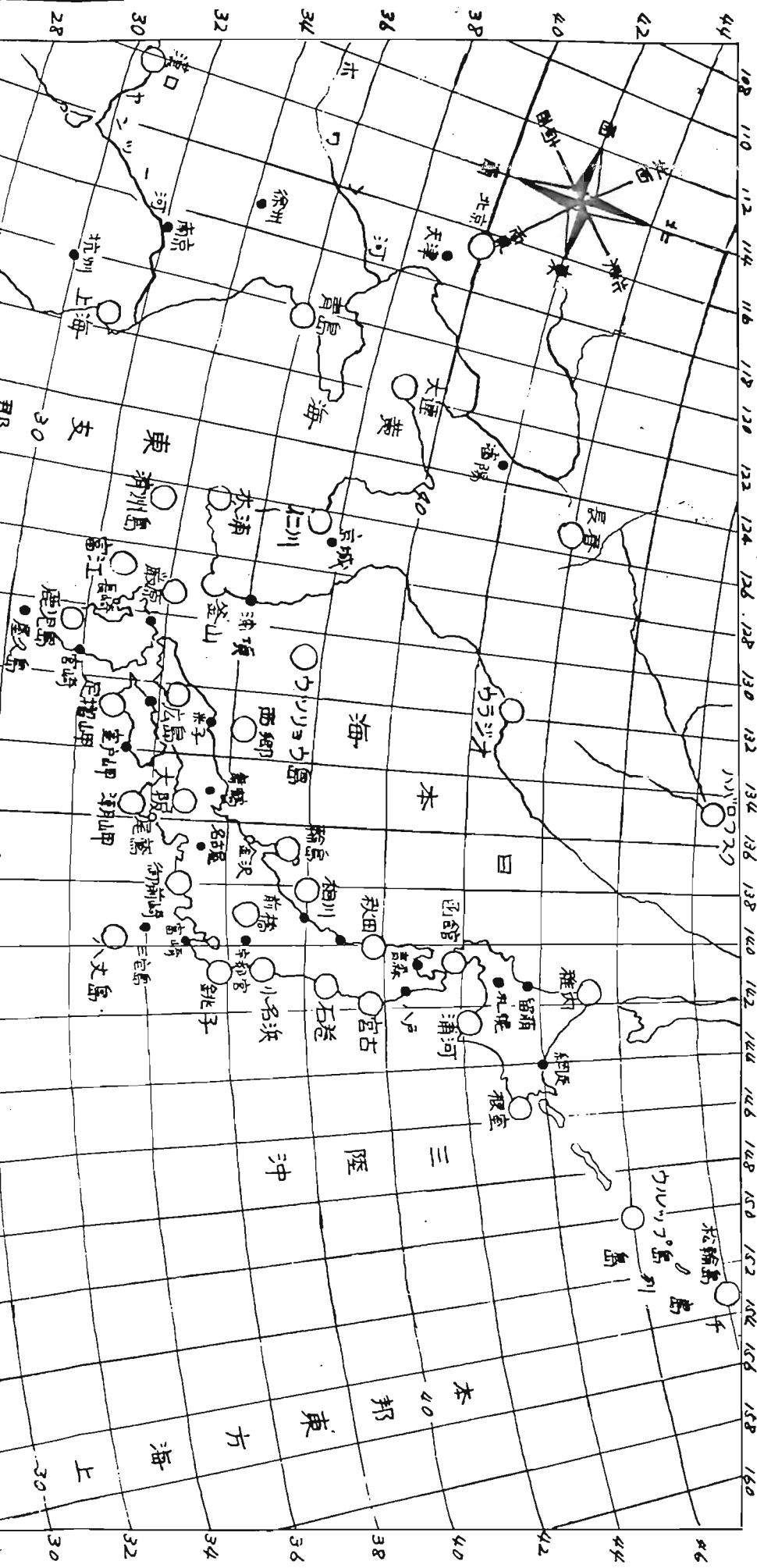
天気図に必要な記号

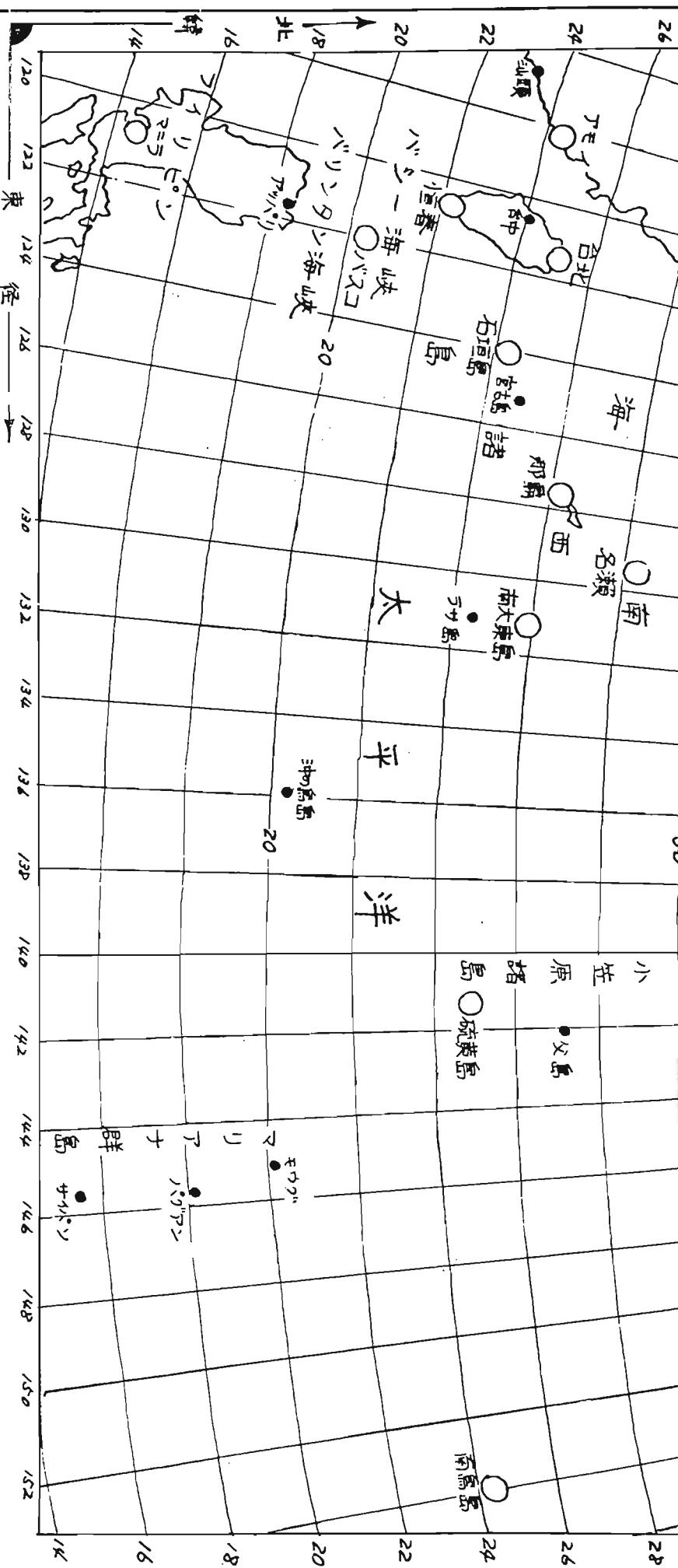
風力	地上10mにおける相対風速(m/s)	記号	風力	地上10mにおける相対風速(m/s)	
0	0.0~0.3	未満	7	13.9~17.2	未満
1	0.3~1.6	"	8	17.2~20.8	"
2	1.6~3.4	"	9	20.8~24.5	"
3	3.4~5.5	"	10	24.5~28.5	"
4	5.5~8.0	"	11	28.5~32.7	"
5	8.0~10.8	"	12	32.7	以上
6	10.8~13.9	"			

○ 快晴 ① 晴雨 ③ 霧  
 ● ● 暫雨 ② 雨強し ④ にわか雨  
 ○ ● 雷雨 ⑤ ひょう ⑥ あられ  
 ● ● 雪

→ 湿潤前線 ← 寒冷前線 ↗ 停滞前線 ↘ 閉塞前線

天気図を実際に書く場合、上の記号をおぼえていれば、気象通報、台風情報などさきながら、すぐ書けますが、もうひとつ大切なのは等圧線です。各地の天気や、漁業状況でも、必ず気圧を書いますから、下2桁(1010ミリバールなら10)を前に記入し、終ったら、同じ数字のところを線で結びます。その場合2ミリバール毎に、テコボコせず、接分しないから間隔は平均して引かねばなりません、また等圧線は交わることがありますから新規の天気図などをよく注意して見て、自分で何枚も書いてみましょう。





台風情報	
時刻	台風第 11 号は 11 時には
位置	キロの北緯 度 分 東経 度 分にあって
速度 方向	毎時 キロの速さで に進んでいます
強さ	中心気圧は ミリバール
	中心付近の最大風速は メートルで
大きさ	中心から半径 キロ以内では
中心の 風速	側 キロ、 側 キロ以内では
今 後	メートル以上の暴風雨となっています

この台風情報は、台風が近づいたとき、テレビ・ラジオ等で放送されるものです。空欄に記入し 1:の天気図に書きこんで今後の動きに注意しましょう。